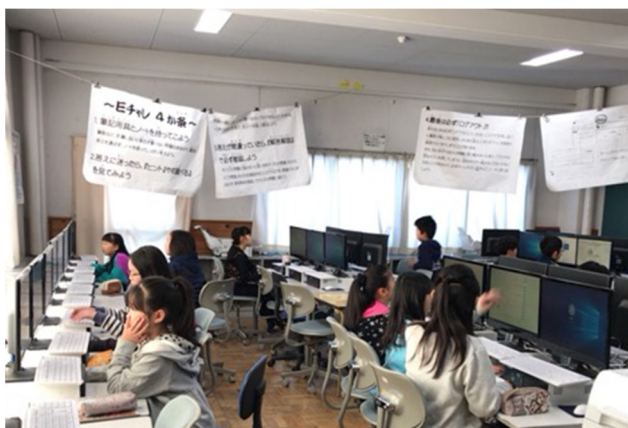




学習習慣の定着に eライブラリ ～ICT係（情報担当）のきめ細かな取り組み～

中標津小学校では、管理職とICT係（情報担当）の先生が中心となり、朝学習や授業内で全学年がeライブラリのドリルで学習しています。学校の取り組みと実践の様子をご紹介します。

■ つまずいた問題は、自分で解決！



でドリルに取り組んでいます。つまずいた問題は「ヒント」や「調べる」を使って解決し、各自が自分のペースで学習を進めていました。

ねらい

「自分で学習する、解決する」力を身につける

中標津小学校では、「自分で学習を進める力」「問題を解決する力」を身につけるために朝学習（Eチャレ）でドリルを活用しています。

「子どもたちは、パソコンを使った学習が好きなので、楽しみながら学習をしています」と渡邊先生。

児童は自分の学習進度に合った教材を自分で選ん

■ 児童が自宅で学習する下準備



ねらい

学校で使い方に慣れて、家庭学習へつなげる

学校で家庭学習サービスに触れる機会を設けることで、児童が自宅でeライブラリのドリルを使って学習できるようにしています。

例えば授業の中で、eライブラリの家庭学習サービスの使い方を伝えたり、家庭でも使えることを定期的に声かけしたりします。

児童もドリルの使い方に慣れ、現在では家庭でドリルを利用する児童が増えました。

インタビュー

Eチャレ（朝学習）を運用して

Eチャレでeライブラリのドリル学習を行っているねらいは、児童が問題を解決できる力をつけ、主体的に学習する力を身につけることです。

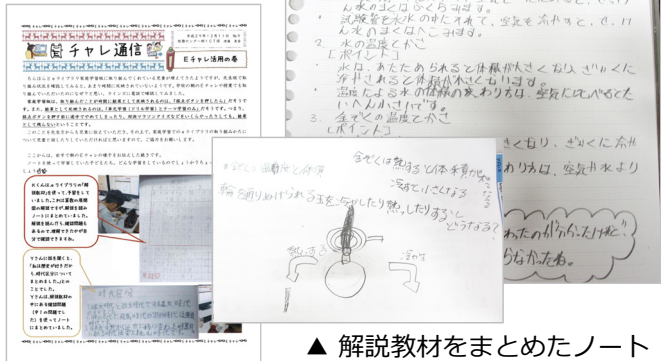
eライブラリの良いところは、学習した結果に応じてマイページのイラストが変化することです。**子どもたちは楽しみながら学習を進めることができ、自然と学習意欲が向上**しています。



ICT係
渡邊 美香 先生

ICT係（情報担当）の先生から基本方針と活用情報を発信

Eチャレ通信



▲ 解説教材をまとめたノート

ICT係の先生が、eライブラリを使った朝学習や家庭学習をスムーズに運用するために基本方針や活用情報を掲載した「Eチャレ通信」を先生向けに毎月発行しています。

「先生方のeライブラリ活用に少しでも役に立つ内容を紹介していきたいです」と渡邊先生。

多くの解説教材からポイントをまとめたり、要点を図版を使ってまとめたり、児童の工夫しているところを「Eチャレ通信」で紹介しています。

eライブラリ活用のねらい

- 「自分で学習する力」と「解決する力」をつける。
- 家庭での学習習慣を身につける。

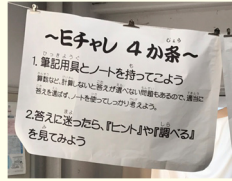
先生への工夫

- これからeライブラリを使う先生が、授業の進め方をイメージできるように、操作方法や運用のポイント、想定される児童反応を紹介している。
- 児童が解説教材の要点をまとめたノートやドリルに取り組んでいる様子を「Eチャレ通信」で発信している。

児童への工夫

- 算数は計算式を書いて問題に取り組めるように、児童に筆記用具とノートを持参させる。
- 児童が自分で学習を進められるように、パソコン教室に「Eチャレ4か条」を掲示している。

- ① 筆記用具とノートを持参
- ② 答えに迷ったら、「ヒント」や「調べる」を見る
- ③ 間違っていたら「解説教材」で必ず確認
- ④ 最後は必ずログアウト!!



児童の様子

- つまづいた問題は、友達と協力し合い、学習を進めていた。
- 100点がとれたときは、とても嬉しそうにしており、自ら進んで次のレベルの問題に取り組んでいた。
- 算数の問題文をノートに写し、途中式を書きながら正解を導き出していた。
- 問題を解いた後は、マイページからイラストやグラフの推移を友達同士で見せ合い、次の問題を積極的に取り組む姿が多く見られた。

インタビュー 家庭学習サービスをはじめたきっかけ

eライブラリの家庭学習サービスは、これまでの家庭学習の延長としてすぐに活用できると思いました。また、**不登校の児童が自分で学習できる良いツールと考え、学習環境の整備の一環**として運用を始めました。

現在では、学校でも家庭でも進んで学習する児童が増えています。



校長 横山 裕充 先生

※ 本紙の情報は取材当時（2017年度）のものです。